



こんにちは

# 村田 けい子 です

2017  
5.12

No.101

みなさんのご意見・ご要望をお寄せ下さい。フェイスブックやっています。

発行/日本共産党立科町議会議員 村田桂子 立科町塩沢1483 ☎0267(56)2868

## ふるさと交流館芦田宿がリニューアル！移住促進センターが併設に



地元町区の区長さんも参加してテープカット

4/28 ふるさと交流館の内部を一新し、芦田宿のお休み処としての機能と蓼科の良さを発信し、移住につなげる機能が強化されました。

急な階段を手すりにつかまりながら上ると、すぐ左に大きな立科町のイラストマップが。旅人が町の全容がつかめるようになっています。



正面にはカウンターがあり、旅人を迎える。



五無齋保科百助のコーナーがしっかりあります。



六川長三郎など立科町を拓いた人々についてのパネル展示があります。



右奥にはバリスタでコーヒーが飲める。100円。



吹き抜けの明るい内部。キッチンもあり、地域の交流が盛んになればいいですね。



おもちゃのあるキッズコーナー。お子さん連れでも参加できるような配慮が。



株笠取峠の赤松の切樹齢2百年。



元銀行。分厚い金庫がある。資料室になっている。



マメコバチの巣(ヨシ)の茎の束

今週のパチリ

細い管の中を巣にするとのこと。



## 驚きのミニギター！

ぶらりSHINDENまち歩きイベントでの出展をお願いしにお訪ねしたお家。

案内されたお部屋には、小さなギターがケースに飾られていました。ギターケースの金具まで手作りとは！すでに芸術品です。

農家の軒先に何やら葦の束が吊るさっている。「これは何？」とお尋ねすると、リンゴの受粉を助けるマメコバチの巣作りのためにつるしておくということ。このところ、ミツバチなどは農薬の影響か、元気がないというが、農家の方の共存共栄の関係づくりに「そうなんですか！」と驚きました。今年も元気に蜂が受粉の手助けをしてくれて、おいしいリンゴができますように。

## 5/1 佐久地区のメーデーに参加



プラカードも色とりどり。コンテストも行われた。

## 5/2 温井の水源地の水神祭



塩とお酒を四方に撒き、安全とともに水の恵みを祈る。



社会文教委員会の正副委員長により、短歌のご披露があった。

## 5/5までの上房の鯉とのぼり



## 【地域おこし協力隊員 新たに1名】

5月1日より

牧内 久美さん

千葉県千葉市より（生まれは東京都）移住サポートセンターに浜野さんと一緒に勤務しています。

スタンディング  
毎週土5:30～6:00

## 5/3 憲法記念日「アベ政治許さない」立科軽トラパレードに参加



9条を守るたてしなの会主催の軽トラパレード

憲法を変え、「戦争できる普通の国」にするために、戦争法を強行し、共謀罪を設けることで国民の批判を押さえつけようとする安倍政治。

2020年には憲法を変えることを明言した安倍首相。9条を守るたてしなの会のみなさんと一緒にパレードにさんかしました。

午後は、ピースアクション主催の憲法講座に参加しました。



「与謝野晶子の群読に君死に給う事なかれ」の群読



弁護士による日本国憲法の学習会



市民によるうたごえも。迫力ある演奏でした。

## 5.9 議会全員協議会への報告から【ふるさと寄付金について】

総務省から指導がありました。返礼品の競争になり、本来の故郷を応援したいという趣旨から外れる傾向にあるとのことで、その是正の通知です。その内容は

- ①プリペイドカードなど換金性の高いものは使わない。
- ②家具・貴金属などの資産性の高いもの。
- ③価格の高いもの。④寄付額に対する返礼品の調達価格の割合が高いもの。⑤返礼割合を3割以下にすること ⑥自分の住んでいる町の住民からの寄付に対しては返礼しない。（表現は村田の解釈）

この通知を受けて、町が計算すると 1万円の寄付に対して 米20kgで63.7% 蓼科牛50% その他25.47% 平均55.1% (米、蓼科牛を除くと34.8%) の割合。

4月28日現在。ふるさと寄付金の申込件数は

米2,874件、その他328件 計3,202件

ゴールデンウィーク中の申し込みが、1,145件もあり、すでに4,327件になったそうです。

町では、町民が町にふるさと納税をしていた場合でも返礼しています。町としてはこれまで同様の対応にしたいとしています。